



研究部会報告

● 評価の OR ●

・第7回学生大会

日 時：2月24日(土) 13:30~16:30

出席者：25名

場 所：政策研究大学院大学

テーマと発表者：

(1)「距離関数を用いた多変量データ解析」

畑澤文祐 (日本大学)

従来型のL2計量ノルム正準相関分析と提案するL_p計量ノルム正準相関分析(p=1, +∞)を比較した。

(2)「マインド遷移モデルとしてのANP」

宮本隼一 (日本大学)

AHP, ANPの拡張形として、マインド遷移モデルを提案した。

(3)「マルコフ連鎖の基本閉路フロー分解とそのANPへの応用」

留田慎一郎 (日本大学大学院)

標題通り、正味純フローに注目して、支配的な基本閉路フロー集合を抽出した。

(4)「高齢介護サービスの適正な整備に関する研究」

伊佐治 直 (政策研究大学院大学)

AHPにより介護サービスと地域特性の関連性を、DEAにより在宅福祉サービスの介護力と投資効率性を分析した。

(5)「ある外食企業の支店評価の提案」

川上高広 (東京理科大学)

クラスター分析により立地条件を考慮し、製品原価と人件費を入力項目、続売上高を出力項目とした

DEA分析を行った。

(6)「ファジィデータおよび欠損データに対するDEAモデル」

野上亮太 (東京理科大学)

欠損データを全ての入出力項目のデータを用いて総合的に予測し、三角ファジィ数で表す手法を提案した。

● グローバル政策 ●

・第15回

日 時：1月20日(土) 14:00~17:00

出席者：11名

場 所：三菱重工代々木会館

テーマ：「コンピュータ・セキュリティ」

講 師：市川雅也 (三菱重工)

インターネットなど、情報システムへの依存度が急増しているのに対し、セキュリティ対策が遅れている。特に軍事関係では、情報革命は戦争の様相を戦略的情報戦争に変えると考えられる。米国防省のサイバー攻撃実験を解説し、日米の情報セキュリティ管理機関、通信監視システムを紹介した。

・第16回

日 時：3月17日(土) 14:00~17:00

出席者：8名

場 所：三菱総合研究所4階CR-4会議室

テーマ：「日本的経営の神話の崩壊と今後一どどのように変貌するか」

講 師：樋爪 徹 (㈱イーウェイ シニアコンサルタント)

日本的経営を年功序列、終身雇用、品質向上の考え方およびアメリカの伝統的経営学の影響から解説した。日本的経営への賞賛と、バブル崩壊による批判を紹介し、その後の日本的経営の変化をたどり、現在の展望を終身雇用・年功序列の崩壊と、実力主義・能力主義として示した。